

『SS7』データの一覧表(Excel)を作成するツール

本プログラムの説明

『SS7』の物件データを保存しているフォルダを指定すると、フォルダ内の『SS7』データの一覧をExcelの表で作成します。

『SS7』の「開く」には無い情報として、建物規模や計算ルートを追加した一覧表を作成します。

また、Excel表内に選択した物件データで『SS7』が起動するリンクを作成します。



No.	工事名称	Ver	階	Xスパン	Yスパン	RC	SRC	S	CFT	木	構造	ルートX	ルートY	path
1	A物件	1.1.1.19	3	10	6	-	-	○	-	-	S	ルート3	ルート3	D:\UsrData\Ss7Data 1\%aaaaa.ikn
2	B物件	1.1.1.10	13	15	7	○	-	○	-	-	RC	ルート3	ルート3	D:\UsrData\Ss7Data 1\%bbbbb.ikn
3		unknown												D:\UsrData\Ss7Data 1\%cccc.ikn
4	D物件	1.1.1.13	11	11	4	○	-	○	-	-	S	ルート3	ルート3	D:\UsrData\Ss7Data 1\%ddddd.ikn
5	E物件	1.1.1.7	8	16	12	○	○	○	-	-	SRC	ルート3	ルート3	D:\UsrData\Ss7Data 1\%eeee.ikn
6	F物件	1.1.1.16	3	6	7	-	-	○	-	○	木	ルート3	ルート3	D:\UsrData\Ss7Data 1\%fffff.ikn
7	G物件	1.1.1.10	2	3	2	-	-	○	-	-	S	ルート2	ルート2	D:\UsrData\Ss7Data 1\%gggg.ikn
8		unknown												D:\UsrData\Ss7Data 1\%hhhhh.ikn
9	I物件	1.1.1.18	8	6	9	-	-	○	-	-	S	ルート3	ルート3	D:\UsrData\Ss7Data 1\%iiii.ikn
10	J物件	1.1.1.13	3	6	8	-	-	○	-	-	S	ルート3	ルート3	D:\UsrData\Ss7Data 1\%jjjj.ikn

本プログラムの実行方法

1. 指定フォルダに『SS7』の物件データをコピーします。
2. プログラム(Ss7datalist.py)内の、“dir_path”に指定フォルダを記載します。
3. プログラムを実行します(Ss7datalist.py)。

例) C:に「example」というフォルダ名で本プログラムを配置する場合

```
cd C:\example\src
python Ss7datalist.py
```

4. 指定フォルダに“SS7データ一覧.xlsx”が作成されます。

注意事項

- 本プログラムは『SS7』Ver1.1.1.19で動作確認を行いました。
- プログラムで指定した『SS7』のバージョンと同じバージョンのデータは、プログラム実行後にデータフォルダの日付が更新されます（データに変更はありません）。

『Op.Python実行』の設定手順

Ss7Pythonライブラリを使用するための設定手順です。

1. 『SS7』を起動し、[ツール – 環境設定 – Op.Python実行]画面を表示します。
2. “利用可能なPython言語のバージョン”を選択し、[デスクトップへコピー]ボタンをクリックします。
3. デスクトップにある「Python」フォルダごと、「src」フォルダにコピーします。

必要な外部ライブラリ

本プログラムは以下のバージョンで動作確認を行いました。
以下の外部ライブラリをPython実行環境にインストールしてください。

- pandas 2.1.2
- openpyxl 3.0.10

```
pip install pandas  
pip install openpyxl
```

外部ライブラリのライセンスは「LICENSES/ライセンスについて.txt」を確認してください。

著作者

Copyright (C) 2024 UNION SYSTEM Inc.

ライセンス

本プログラムは MIT License に基づいています。「LICENSE」を確認してください。